

1-1【第6学年研修】

| | 2004年 | | | | | | | | | | | | 2005年 | | | | | | | | | | | | 2006年 | | |
|---------|-------|----|----------|----|-----|-----|-----|----|----------|----|----|----|-------|------|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|--|--|-------|--|--|
| | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | | | | |
| 1～3年生研修 | | | 隔週実施(終了) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4年生研修 | | | | | | | 集中終 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5年生研修 | | | | | | | | | 隔週実施(終了) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6年生研修 | | | | | | | | | | | | | | 隔週実施 | | | | | | | | | | | | | |

PFC/PROMETAM 研修（第6学年）は2005年2学期、2005年7月23日から2005年11月21日にかけて実施された。PROMETAM が関わった PFC 研修コースは、2006年度1学期に実施が予定されている実地研修が残されているものの、算数科の授業は今期にて終了となる。

今期研修はこれまでの経験もあり、内容面においても運営面においても特に大きな問題が生じることはなく、概ねスムーズに実施された。以下はその報告である。

1-1-1 研修状況

PROMETAM 作成教材を含む新国定教科書の全国配布が始まり、それに付随する全国研修の開始とほぼ同時期に、全てのサイトで研修が開始された。ただし、大統領選挙が11月末に予定されていたため、当初より規定の時間数を満たす10週分の授業回数の確保は難しい状況だった。その上、研修期間中に教材の全国配布とそれに伴う全国研修の実施、プロジェクト評価のための授業分析など、様々な活動が行われた。そのため授業時間数の調整・確保が困難な面もあった。

また、教材の全国配布と全国研修を通じて PROMETAM の目的や意義が周知のものとなり、PROMETAM 研修受講者の存在が大きくクローズアップされることとなった。特に地方教育行政側でこれらの人材を積極的に活用しようとした地域においては、受講生のモチベーション向上に大きな力があつた。

1-1-2 プロジェクトとしての活動

授業分析

プロジェクト評価にかかる授業分析においては、教材配布の効果を計るために配布前と配布後で調査を実施する必要がある。9月末から10月にかけて前回と同じメンバーにより、教材配布後の授業分析を実施。分析者によるずれを避けるために基本的に一つの対象クラスに対して同一人物が調査することとした。

授業分析における隊員担当分一覧

| 地区名 | ダンリ | グイノベ | オコテペケ | ソナゲラ (コロン県) | ラ・リベルタ (コマヤグア県) | ナカオメ (バジェ県) |
|-------------------|-----|------|-------|----------------|--------------------|----------------|
| 調査校 (PROMETAM) | 0 | 6 | 7 | 7 | 4 | 8 |
| 調査校 (一般) | 0 | 7 | 4 | 5 | 3 | 8 |
| 合計 | 0 | 13 | 11 | 12 | 7 | 16 |

プロジェクト評価にかかる学力試験の実施

プロジェクト評価のために教員および生徒を対象とする学力試験を実施。教員用学力試験は研修時間の一部を用いて実施した。

教材配布

前回に引き続き四則演算練習用計算カードを前回配布対象外としていた受講生に配布した。係争中であつた契約先印刷会社と和解できたためである。残りの計算カードが無事印刷され、当初発注された数量が確保できたため、前回の配布対象者以外の受講生にも配布が可能となった。配布にあたっては関係者によるサイト視察時に教材を持参するとともに、前回同様地区教育事務所に説明および支援を依頼した。

なお、配布対象および配布方法については、発注先とのトラブルにより必ずしも必要な配布数が確保される保証がなかったために、計画的な配布が困難であつた。ただ隊員側からは配布について以下のような意見も出された。今後の参考に付記しておく¹。

- ・計算カードについての講習会を行うためなど、各サイトに計算カードが20セットほどあるといい。
- ・今回講習生の児童数に合わせて配布されたが、以下の理由により、各講習生に40セットずつ配布した方がより効果的だと思われる。
 - ・現在持っているクラスは、すでに年度末に入っているの、来年はすぐ児童数が変わる
 - ・現在クラスを担当していない先生も、来年はクラスを担当する可能性がある
 - ・校長であっても、自分の学校でデモンストレーションとして、自分の先生たちに紹介したり、貸したりして活用することができる。それには、40セットという数が適当と思われる。
 - ・算数専科や複式のクラスを持っている講習生には、その分大量に配られたが、一度に100セットものカードを授業で使うことはない。
- ・授業観察では、それぞれの先生が自分の教室に置いて使っており、子どもに家に持ち帰らせている先生はいなかった。中には、午前と午後で先生が変わるので、盗まれないように、別の部屋にしまって鍵をかけて保管している先生もいた。日常的に何回も使われなければ、計算カード利用の意味がない。

1-1-3 研修結果

講義サイトおよび実施スケジュール

| サイト名 | 県名 | 担当クラス数 下段は開講クラス | 期間 | 時間数 | 講師 |
|--------|----------|--------------------|------------------|------|----------------------|
| ダンリ | エル・パライス県 | 1 / 3 | 7月23日 ～11月12日 | 40 | 下田あゆみ、多田貴義 |
| グイノベ | エル・パライス県 | 1 / 1 | 7月23日 ～11月12日 | 49 | 名倉那々子、伊藤豪孝 |
| オコテベケ | オコテベケ県 | 1 / 2 | 7月23日 ～11月13日 | 53.3 | 持永めぐみ、伊勢真希子、 川野充子 |
| ソナゲラ | コロソ県 | 1 / 1 | 7月23日 ～10月19日 | 40 | 石津美華、田村道代 望月勇太 |
| ラ・リベルタ | コマヤグア県 | 1 / 2 | 7月23日 ～11月18日 | 42 | 吉村智美、梅田亜紀子 |
| ナカオメ | バジェ県 | 1 / 3 | 7月23日 ～11月21日 | 38 | 林大樹、深澤宏美 |

¹ 研修終了時の講師総評におけるダンリ下田隊員コメントからの抜粋

1 1月末に実施される予定であった大統領選挙の影響のため、当初より規定の時間数を満たすことは難しく、隔週土日実施では前回同様9週分18齣36時間の授業時間しか確保できないことが懸念されていた。しかしながら前回反省会合意事項に、授業時間を確保することが含まれており、関係者の調整の結果、最終的に前回より若干時間数を増やすことができた。サイトごとの対応については下記表のとおりである。なお、研修後半、大統領選挙の影響もあり、ダンリオおよびソナゲラ地区では、予定していた授業日を確保できなくなり、結果的に授業時間が予定よりも少なくなってしまった。

研修開始にあたり、ラ・リベルタ地区において日程関連のトラブルが多く、担当コーディネーターは反省会にも出席していなかったため、研修開始前にコマヤグアで開催された研修準備会議にシニア隊員が出席した。他教科担当講師らと共に話し合った結果、1)日程を変則的に実施し、極力全体での時間数を確保する、2)一部他教科の時間を算数科に振り分ける、3)算数科の授業時間の増加については担当コーディネーターより受講生に説明することで合意に至った。

研修開始時には3サイト、オコテペケ、ラ・リベルタ、ナカオメ地区に専門家およびシニア隊員が赴き、視察および問題が起きた際の対処にあたった。上記3サイトにおいては、オコテペケでは特に問題はなかったが、ラ・リベルタ地区においては、事前に会議で日程が合意されていたにもかかわらず、当日に変更された。PFCコーディネーターはこの日程調整に時間をとられ、受講生への説明等には十分に時間を割くことができなかった。また、ナカオメ地区においては当初予定していた時刻に多くの受講生が来ていなかったため、開始時試験の実施を翌日に延期した。

時間数確保に関するサイト別対応一覧

| | ダンリ | グイノベ | オコテペケ | ソナゲラ | ラ・リベルタ | ナカオメ |
|----|----------------|----------------|-----------------|----------------|-----------------|----------------|
| 対応 | 算数のみ集中 補講実施 | 算数のみ集中 補講実施 | 算数のみ時間 延長で対応 | 算数のみ集中 補講実施 | 他教科の時間 を一部振替 | 算数のみ集中 補講実施 |

カウンターパートとその業務遂行状態

| サイト名 | 地区教育事務所 | | PFCコーディネーター | |
|--------|------------------------|----|-----------------------|----|
| ダンリ | Dilma Nufio | MB | Nimia Ardón | B |
| グイノベ | Henri Rodríguez | R | Zoila Aurora Herrera | MB |
| オコテペケ | Rosa Margarita Pinto | B | Rosa Margarita Pinto | B |
| ソナゲラ | Luany Ramona Ulloa | B | Jose Agustín Murillo | MB |
| ラ・リベルタ | Pedro Armando Machiado | B | Justo Pastor Orellana | R |
| ナカオメ | Pedro Jacinto Toscano | B | Margarita Campos | B |

講師による総評（要旨）

県・地区教育事務所

| | |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ダンリ | <ul style="list-style-type: none"> 授業の際には必ず同席。調査団など関係者の訪問がある際には十分に便宜を図ってくれた 講習最終日には受講生に対し、今後の協力姿勢について話をするなど配慮・支援があった。 |
| グイノベ | <ul style="list-style-type: none"> 市長選挙関連の活動で忙しく、一度も訪問はなかった。 |
| オコテペケ | <ul style="list-style-type: none"> 全20回の講習会のうち、半分以上の講習を視察。授業観察、モニタリングにしばしば同行。 |
| ソナゲラ | <ul style="list-style-type: none"> 開始時には試験監督を担当。活動に対する理解があり、相談にもものってもらえる。 教科書配布時には受講生に状況説明などを実施。多忙にもかかわらず、非常に協力的だった。 |
| ラ・リベルタ | <ul style="list-style-type: none"> 研修については数回教室の外より中を窺う程度。反省会には参加。 会議や授業視察等で忙しく、オフィスにはほとんど不在のため、授業観察や教材配布は隊員のみで実施。必要に応じてINICEに配車を依頼。受講生の多くが担当地区外であることも影響している。 |
| ナカオメ | <ul style="list-style-type: none"> 協力的だった |

PFC コーディネーター

| | |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ダンリ | <ul style="list-style-type: none"> ・二度にわたる日程変更があった。講習生の意見により場当たりの変更がなされがちである。 ・会議で決められた時間数増加についての受講生からの抗議に対し、受講生の側にたって交渉しようとした。コーディネーターの役割を認識して欲しい。 |
| グイノベ | <ul style="list-style-type: none"> ・担当授業のない日曜日には授業を見学。 ・研修前日には教室環境を整え、補充のための時間割調整も実施。 ・十分な支援があった。 |
| オコテベケ | <ul style="list-style-type: none"> ・時間のあるときは講習会場に足を運んでくれた。 ・授業時間数を十分に確保してくれた。 |
| ソナゲラ | <ul style="list-style-type: none"> ・研修開始時・終了時試験の監督を担当。前の授業を担当していたため相談事にはすぐに対応してくれた ・多忙にもかかわらず、講習生への連絡・PROMETAM の反省会への参加などこちらの要求することに対して常に協力的である。 ・良好な関係を保っている。この関係を維持できるよう、コミュニケーションを深めたい。 |
| ラ・リベルタ | <ul style="list-style-type: none"> ・講習会初日のブリーフィングの打合せが実施できず、隊員が用意した原稿を読み上げたのみ。 ・数回授業参観をしたものの、短時間で退席。授業終了後も特にアドバイス等はなかった。 ・最終日に同席せず。 ・今回は40 時間授業を確保したものの、時間割を把握しておらず、変更等を他の講師に連絡していないことがあった。 |
| ナカオメ | 協力的だった |

PROMETAM 事務局に対するコメント（要旨）

[運営面]

| | |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ダンリ | (計算カード配布についてのコメントあり。研修とは別の活動であるため、別項にて記載) |
| グイノベ | <ul style="list-style-type: none"> ・適度な訪問、学力テストの際の補助などがあった ・毎週月曜の提示連絡で情報を共有できていた。 |
| オコテベケ | <ul style="list-style-type: none"> ・開始時、終了時テストの際に来て協力してくれた。モニタリングは日程的に大変だった。 |
| ソナゲラ | <ul style="list-style-type: none"> ・専門家・シニア隊員がセミナーを見学したのには感謝している。 ・今回は教科書、計算カード配布、アンケート調査など受講生へ適切に伝えなくてはならない項目が多かったが、専門家・シニア隊員から説明があり、受講生の理解をすぐに得ることができた。 ・前回の反省点の事務局との情報共有化は週1の常務連絡で改善され、情報の遅れがないということで安心して活動ができた。 |
| ラ・リベルタ | <ul style="list-style-type: none"> ・定期連絡を取るようになり、INICEの動きや他のセデの予定がわかるようになった点はとてもよい。 ・緊急時は電話とメールの両方で連絡がある点も改善された点の一つ。 |
| ナカオメ | <ul style="list-style-type: none"> ・ INICE 内での情報共有をしっかりとこなしてほしい。 |

[技術面]

| | |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| グイノベ | ギアの内容に対する質問には、素早く丁寧な回答があった。 |
| ソナゲラ | ギア等で内容がわからない際の回答や、教えるときのポイントの説明があり、講習会にとっても役立った。 |
| ラ・リベルタ | <ul style="list-style-type: none"> ・指導において、不明な点や疑問点を専門家やシニア隊員にお聞きすることができ、大変心強い。 ・講習で扱う内容を絞ってもらえたことがよかった。 |

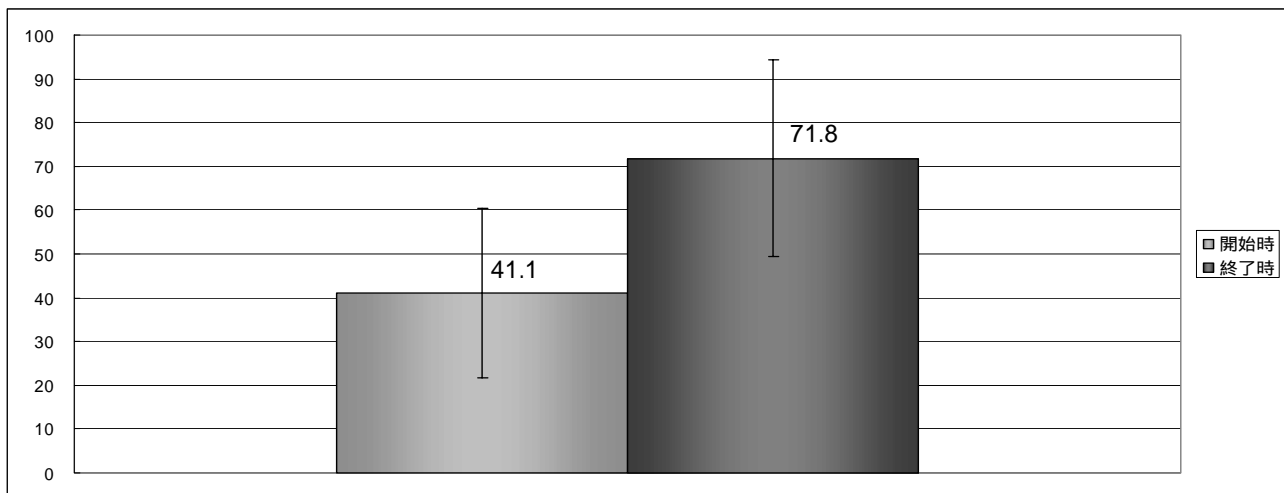
教室物理的環境

| サイト名 | 黒板 | チョーク&黒板消し | 机&椅子 | 照明 | 室温 | 騒音 | トイレ |
|--------|----|-----------|------|----|----|----|-----|
| ダンリ | OK | NO | OK | OK | OK | OK | OK |
| グイノペ | OK | OK | OK | OK | OK | OK | OK |
| オコテペケ | OK | NO | OK | OK | NO | OK | OK |
| ソナゲラ | OK | OK | OK | OK | NO | NO | OK |
| ラ・リベルタ | NO | OK | OK | OK | OK | OK | OK |
| ナカオメ A | OK | NO | OK | OK | OK | OK | OK |
| ナカオメ B | OK | NO | OK | OK | OK | OK | OK |

試験結果

地区ごとの詳細は添付資料（スペイン語）を参照。ここでは全体について述べる。

試験結果（平均差および標準偏差）



| | 平均 | 標準偏差 |
|-------|------|------|
| 開始時試験 | 41.1 | 19.2 |
| 終了時試験 | 71.8 | 22.5 |

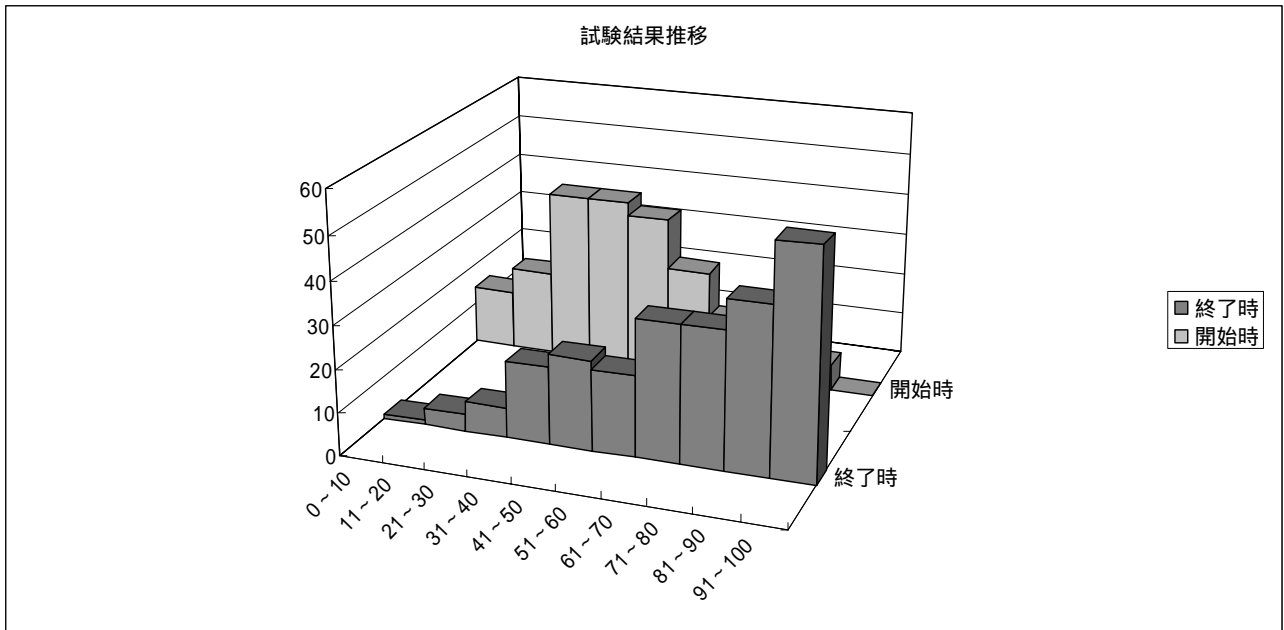
t検定（対応あり）
仮説平均値の差 = 0

| | 平均差 | 自由度 | t値 | p値 |
|----------------|---------|-----|---------|--------|
| Initial, Final | -31.225 | 203 | -22.117 | <.0001 |

サイト別平均点および標準偏差

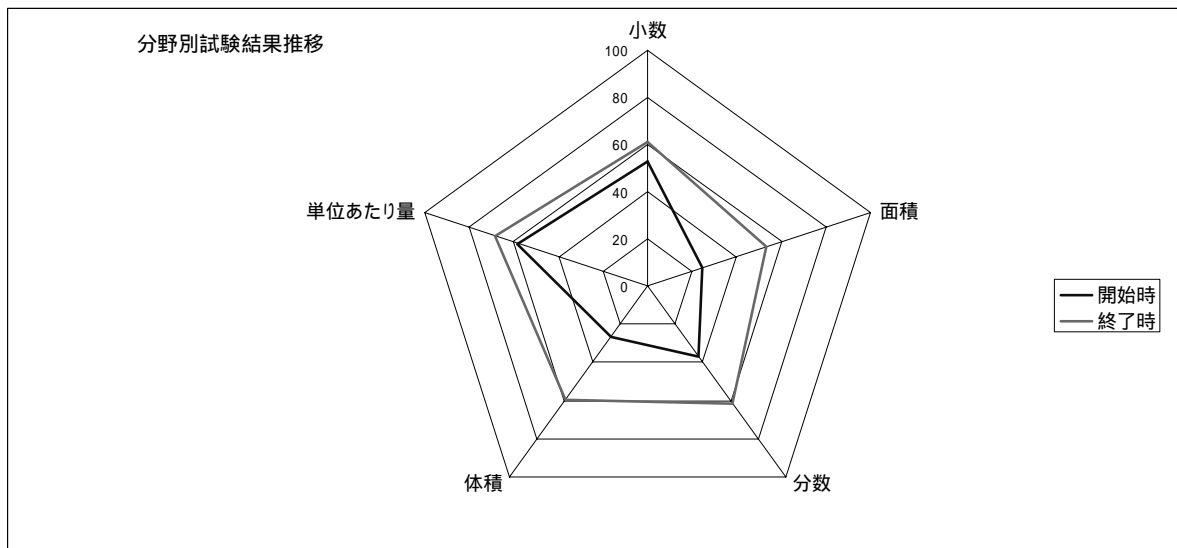
| | ダンリ | グイノペ | オコテペケ | ソナゲラ | リベルタ | ナカオメ A | ナカオメ B |
|------------|--------|-------|-------|--------|-------|--------|--------|
| 開始時平均 | 46.3 | 36.5 | 39.8 | 26.7 | 32.9 | 62.1 | 44.3 |
| 終了時平均 | 59.0 | 71.4 | 68.7 | 60.7 | 53.2 | 93.4 | 92.3 |
| 点数伸び率 | 27.5% | 95.8% | 72.6% | 127.2% | 61.4% | 50.4% | 108.3% |
| 標準偏差(開始時) | 14.2 | 17.2 | 19.0 | 11.4 | 19.0 | 20.9 | 13.3 |
| 標準偏差(終了時) | 17.3 | 17.4 | 19.6 | 22.4 | 18.4 | 10.0 | 10.0 |
| 偏差値平均(開始時) | 52.7 | 47.6 | 49.4 | 42.5 | 45.8 | 61.0 | 51.7 |
| 偏差値平均(終了時) | 44.3 | 49.8 | 48.6 | 45.0 | 41.7 | 59.6 | 59.1 |
| 偏差値伸び率 | -16.0% | 4.6% | -1.5% | 5.9% | -8.9% | -2.2% | 14.3% |

試験結果推移（ヒストグラム）



| | 0～10 | 11～20 | 21～30 | 31～40 | 41～50 | 51～60 | 61～70 | 71～80 | 81～90 | 91～100 |
|-----|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 開始時 | 14 | 20 | 40 | 40 | 37 | 25 | 14 | 8 | 6 | 0 |
| 終了時 | 1 | 4 | 7 | 18 | 21 | 19 | 32 | 32 | 39 | 53 |

分野別試験結果推移



| | 小数 | 面積 | 分数 | 体積 | 単位あたり量 |
|-----|------|------|------|------|--------|
| 開始時 | 52.7 | 24.3 | 37.0 | 26.5 | 58.2 |
| 終了時 | 61.4 | 53.2 | 61.5 | 60.0 | 68.4 |

試験結果推移をみると平均で30点以上の向上がみられるが、前回に比べると伸び率はそれほど高くはない。これは学年が上がり難易度が増したこと、指導力向上を重視したことなどによると思われる。

なお、終了時試験で20点未満の受講生が5名いるが、このうち、実習点を加えても60点に満たなかったのはリベルタ地区の2名のみ。いずれも補習を別途実施し、最終的には合格に至っている。

特筆すべきはソナゲラ地区における成績の向上である。同地区はもともと教員の成績が低く、モチベーションもそれほど高いとは言えない傾向にあるが、隊員は家庭訪問や個別指導などを実施しつつ、他地区と遜色のないレベルの成績が出せるよう、教員の学力向上に努めている。なお、今回、同地区でははじめて補習実施せず、全員を一発合格させることができた。

受講生出席状況および最終成績

| サイト名 | 遅刻 | 早退 | 欠席 | 中抜け | 受講者数 | 合格 | 不合格 | 欠席 | 最終成績 平均 |
|--------|-----|----|-----|-----|------|-----|-----|----|------------|
| ダンリ | 41 | 0 | 13 | 0 | 35 | 35 | 0 | 0 | |
| グイノベ | 32 | 0 | 42 | 0 | 29 | 29 | 0 | 0 | 79.3% |
| オコテベケ | 22 | 1 | 12 | 1 | 27 | 27 | 0 | 0 | |
| ソナゲラ | 0 | 1 | 7 | 0 | 44 | 44 | 0 | 0 | 81.5% |
| ラ・リベルタ | 41 | 0 | 19 | 6 | 22 | 22 | 0 | 0 | 71.4% |
| ナカオメ A | 0 | 0 | 39 | 0 | 32 | 32 | 0 | 0 | 93.8% |
| ナカオメ B | 0 | 0 | 37 | 0 | 37 | 37 | 0 | 0 | 95.9% |
| | 136 | 2 | 169 | 7 | 226 | 226 | 0 | 0 | |

講師（隊員）による受講生についてのコメント要旨（出席状況・学習態度）

| | |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ダンリ | <ul style="list-style-type: none"> 遅刻者が多く、途中退席もあった。また病欠も多かったため、欠席者に対しては補講を実施。 受講生は熱心に勉強し、授業態度もよかった。わからない場合には受講生同士で教えあう場面も見られた。 |
| グイノベ | <p>【出席状況】…講習会後半に私用での欠席が目立った。そのため補習や時間割の変更をしなければならなかった。</p> <p>【学習態度】…黒板の内容をしっかりとノートに写したり、集中して練習問題を解いたりする姿が多く見られた。模擬授業では、前回と比べて評価のポイントをつかんだ質問や発言が多く、議論が行われた。2クラスで少人数ということもあり、受講生同士が教えあう姿も見られた。</p> <p>一部の受講生による宿題の写し合いがあったのは問題。</p> |
| オコテベケ | 時々遅刻があるものの出席状況は概ねよい。習態度も概ねよい。発言は活発だが私語もあった。 |
| ソナゲラ | <ul style="list-style-type: none"> 授業の出席率はよいが、前授業の遅延や休憩などにより定時に始められなかった。時間帯も暑い地域では勉強するには不適切な時間帯。受講生の態度は良好。 宿題は予習・復習の2枚を出題。すべて正解するまで再提出をさせた。予定より2日間授業が少なくなった分を宿題としたが、受講生からの不満は出なかった。 単元の終わりごとに行った小テストは、1クラスに1担任のため、カンニングを防ぐのが難しい。テスト内容を簡単にしてもカンニングを完全になくすことができなかった。 |
| ラ・リベルタ | <ul style="list-style-type: none"> 交通事情や病気による遅刻・欠席以外は、毎回ほぼ全員が出席。また中抜けのチェックにより、途中退出者が減少した。 受講生は、言葉に詰まった時には補足をしてくれるなど、協力的。わからないところは質問をしたり、例を出して応用的な発問をしたりするなど、発言が活発で意欲的である。クラスメイトの発言に対し、ほかの受講生が自分の意見を言えるような雰囲気があるのも理解を深める上では、とてもよい。 |

| | |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | やや教室が騒がしくなった際にも、受講生の側から「静かに！」という声が出され、軌道修正ができるのも助かっている。朝に宿題を回収するようにしたため、授業中に算数の宿題をすることはなくなったが、指導書の答えの筆写や、テスト時におけるカンニングはあまり解消されなかった。 |
| ナカオメ | 馴れ合いからか、だらけてきた部分もあるが、学ぶ意欲は増しているように感じる。 |

講師に対する受講者の評価

第6学年研修(2005年2学期)

| | 1. コース全体の構成 | 2. 目的が明確 | 3. 指導法が適切 | 4. 難易度が適切 | 5. 評価が適切 | 6. 課題(含む宿題)が適切 | 7. 講師の授業準備が十分 | 8. 教材が適切 | 9. クラスマネジメント | 10. コミュニケーション | 全体 |
|--------|-------------|----------|-----------|-----------|----------|----------------|---------------|----------|--------------|---------------|-----|
| ダンリ | 3.0 | 3.0 | 3.0 | 3.0 | 2.9 | 3.0 | 3.0 | 2.9 | 2.9 | 2.8 | 2.9 |
| グイノベ | 3.0 | 3.0 | 3.0 | 2.9 | 2.9 | 3.0 | 3.0 | 3.0 | 3.0 | 2.8 | 2.9 |
| オコテベケ | 2.9 | 2.9 | 2.9 | 2.9 | 2.7 | 2.8 | 2.9 | 2.9 | 2.9 | 2.7 | 2.9 |
| ソナゲラ | 2.8 | 2.9 | 2.8 | 2.8 | 2.8 | 2.9 | 2.9 | 2.9 | 2.9 | 2.9 | 2.8 |
| リベルタ | 3.0 | 2.9 | 2.9 | 2.8 | 2.9 | 2.8 | 3.0 | 2.9 | 2.8 | 2.9 | 2.9 |
| ナカオメ A | 3.0 | 3.0 | 2.9 | 3.0 | 2.9 | 2.9 | 2.9 | 3.0 | 3.0 | 2.9 | 3.0 |
| ナカオメ B | 2.8 | 2.9 | 2.9 | 2.9 | 2.8 | 2.9 | 2.9 | 2.9 | 2.9 | 2.9 | 2.9 |
| | 2.9 | 2.9 | 2.9 | 2.9 | 2.8 | 2.9 | 2.9 | 2.9 | 2.9 | 2.8 | 2.9 |

ABC 評価をそれぞれ A=3, B=2, C=1 として 3 点満点の数値に換算。

1-1-4 研修反省会

第6学年研修終了後の2005年11月21日、関係者を集め INICE にて研修反省会を実施した。以下はその概要である。

反省会事前会議

研修反省会の実施にあたっては、16年度1次隊中間発表会終了後に時間を確保し、事前会議を実施した。参加できない隊員がいることを考慮し、実施内容や日時については事前にアンケートをとった上で、必要な活動について確認した。(添付資料参照)

概要

【名称】2005年度第2学期 PFC / PROMETAM 研修(第6学年) 反省会

【目的】

- ・ R/D 記載事項に基づき、研修結果および運営上の問題や採点基準等について、教育省および PFC 関係者へ報告する。
- ・ PFC / PROMETAM 研修終了後のプロジェクト活動(フェーズを含む)について、ホンジュラス側関係者および JOCV 間で情報を共有する。

- ・ PFC / PROMETAM 研修終了後の隊員活動、人材活用等について、意見を交換する。
- ・ 研修で実施した取り組みや作成した教材などを今後に生かすための具体的な方策について、関係者間で話し合う

【内容】

研修反省会 ： 研修で実施した取り組みや、成果などを明らかにし、共有する。

[第一部:全体部会]

1. PROMETAMについての情報共有： 今後のPROMETAMの主な活動についての情報を関係者間で共有。
2. 研修報告： 研修結果および運営上の問題等を関係者に報告。
3. 研修反省会： 前回反省会時に作成したフォーマットに基づき、改善されたかどうかを確認。
4. プロジェクト評価の結果発表： 子供の学力向上には何が必要かを周知。(作業帳に書き込む、宿題のために作業帳を家に持ち帰る、教員の学力指導力を上げるための研修)
5. 今後の隊員活動およびPFC受講生の活用についての意見交換： 各SEDEにおいて、教育の質の向上に向けて今後必要だと考えられる活動についての意見を交換することにより、今後の隊員活動およびPFC受講生の活用を考える際の参考とした。
6. 意見交換に対するコメント： 上記意見交換で出てきた意見に対し、関係者からコメント。(今後の隊員活動についてはJICA事務所から、PFCにおいて育成された人材をどのように活用するかについてはINICE側からコメント)

[第二部:JOCVおよび日本人関係者のみ]

1. PROMETAMについての情報共有： 今後のPROMETAMの主な活動についての情報を関係者間で共有。
2. PFC / PROMETAM研修終了後の隊員活動について、意見を交換。
3. 研修教材・手法の取りまとめ： 研修で実施した取り組みや作成した教材などを今後に生かすための具体的な方策について、関係者間で話し合った。望月隊員が基本案を提示。
4. PROMETAM終了イベントについての意見交換： PROMETAM終了時イベントの実施内容についての意見交換。優秀な受講生の表彰・発表やPROMETAM広報グッズの配布等。
5. PROMETAM作成教材の校正作業についての説明

【参加者】

- ・ PFC局長および地域、地区コーディネーター
- ・ 配属先県および地区教育事務所長
- ・ INICE全国研修担当者
- ・ 青年海外協力隊PROMETAM隊員
- ・ 青年海外協力隊シニア隊員
- ・ ボランティア調整員
- ・ PROMETAMプロジェクトリーダー
- ・ PROMETAM専門家

プログラム

| 月 日 | 時間 | 活 動 内 容 | 担 当 |
|-----------|----------------------|---------------------------------|---------------------|
| 11月21日(月) | 第一部(関係者全員) | | |
| | 9:00 ~ 10:10 | 0. 感謝会(持永・深澤隊員) | Diana, UPNFM |
| | 10:10 ~ 10:30 | 軽食 | |
| | 10:30 ~ 10:35 | 1. 挨拶およびPROMETAMの現状および今後について | 吾郷 |
| | 10:35 ~ 10:50 | 2. 第6学年PFC / PROMETAM研修結果報告 | 佐藤・東矢 |
| | 10:50 ~ 11:05 | 3. 第6学年PFC / PROMETAM研修反省 | Diana |
| | 11:05 ~ 11:15 | 4. プロジェクト評価結果発表 | 下田 |
| | 11:15 ~ 12:00 | 5. 今後の隊員活動およびPFC受講生の活用についての意見交換 | 東矢・佐藤 |
| | 12:00 ~ 12:15 | 6. 上記意見交換についてのコメント | JICA事務所 INICE関係者 |
| | 第二部(JOCVおよび日本人関係者のみ) | | |
| | 13:15 ~ 13:45 | 1. PROMETAMの現状および今後について | 吾郷 |
| | 13:45 ~ 14:00 | 2. PFC / PROMETAM研修終了後の隊員活動 | 佐藤・東矢 |
| | 14:00 ~ 14:30 | 3. 研修教材・手法の取りまとめ | 佐藤・東矢・望月 |
| | 14:00 ~ 14:15 | 4. PROMETAM終了イベントについての意見交換 | 吾郷 |
| | 14:15 ~ 15:00 | 5. PROMETAM教材の校正作業について | 阿部 |

【実施内容】

【出席状況】

| | ダンリ | グイノペ | オコテペケ | ソナゲラ | リベルタ | ナカオメ |
|-----------|-----|------|-------|------|------|------|
| 隊員 | | | | | | |
| PFC 本部事務局 | | | | | | |
| PFC 地区調整官 | × | | ×(兼任) | × | × | |
| 県教育事務所 | | × | | × | × | × |
| 地区教育事務所 | | × | × | × | × | × |